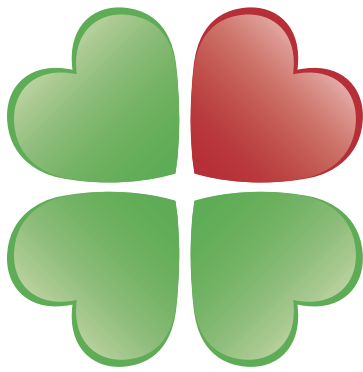




みちのく会 michinoku kai

- ・入会費、年会費は無料です。
- ・求職情報、住宅情報、その他の生活にかかわる情報の提供。
- ・各種親睦会、イベント、ワークショップの開催、参加等による会員同士や道民との交流をおこなっています。
- ・行政や民間からの情報やサービスを会報、メール、WEBにて案内。
- ・行政や民間企業からのさまざまな優待サービスを受けられます。

**北海道へ避難されてきた方へ
まずはご連絡ください**

TEL 011-826-4092
office@michinokukai.info

みちのく会とは？

みちのく会は東日本大震災及び福島第一原発事故によって北海道への避難を余儀なくされた被災避難者による被災避難者のための自助団体です。

(2011年4月23日発足、2013年5月現在・会員数約1,500人) 同じ被災避難当事者だからこそ理解できる心のケアや被災避難者に寄り添ったきめの細かい助け合いの活動を続けています。具体的には、毎週開催しているお茶会などを通して被災避難者同士の交流の場を設けたり避難先の生活に密着した情報の提供。また行政や支援団体、民間団体との情報交換、市民、道民への情報発信。今後、北海道への避難を考えている方への情報提供などの活動をしています。



みちのく会への思い～会員の声

(福島県福島市から避難した方より)

みちのく会は心の支えです。私たち母子は『東日本が放射能で汚染された今、北海道まで行かなければ安全に暮らせない』という思いで、縁もゆかりもない北海道まで辿りついたのです。

しかし、札幌市は福島市から遠く離れ、夫ともなかなか会えません。寂しさ、不安の多い母子避難生活の中、同じみちのくから来た人々との温かいつながりは、生活のエネルギーとなっています。会員同士のお茶会で心のうちをそっと漏らし、様々なイベントで地域の方から熱い支援や応援をいただき、なんとか生きてます。

みちのく会は避難者どうしが助けあい、支えあい、北海道で新しい人生を築くための組織です。

(群馬県前橋市から避難した方より)

群馬から知り合いのいない北海道へ、放射能汚染を怖れての避難。もっと深刻な状況下の東北の方に、申し訳ないような気持ちでいました。みちのく会の受付をした時「群馬からなんです…」と申し訳なさに言っていると、「全然大丈夫、関東からの避難、たくさんいますよ!」と力強く言ってもらい、うれしさに涙が流れました。入会後は物資をいただいたり、温かいイベントに招待されたり。最初は生活に精いっぱい、会に「してもらおう」ばかりでしたが、半年が経ち、やっと自分に何ができるかを考えるようになりました。みちのく会は「避難者自身が作る避難者のための組織」です。

これからは、先に避難した者として、後から避難して来る仲間のためにも活動していきたいです。

みちのく会 月寒事務局 (2013年5月より)

札幌市豊平区月寒西1条7丁目1-11

北海道広域避難アシスト協議会事務所

TEL 011-826-4092 FAX 011-826-4092

みちのく会

WEB <http://michinokukai.info/>

BLOG <http://ameblo.jp/coco-kara-hokkaido/>

MAIL office@michinokukai.info

facebook [http://www.facebook.com/pages/](http://www.facebook.com/pages/みちのく会/173284676069883)

みちのく会 /173284676069883

みちのく会 札幌事務所

札幌市中央区南8条西2丁目

市民活動プラザ星園 201

東日本大震災による被災避難者支援事業

(緊急雇用創出推進事業)

北海道広域避難アシスト協議会

あったかい道：企業の社会的責任としての避難者受入支援民間団体

みちのく会：避難当事者の視点から避難者同士の自助と自立支援団体

緊急雇用創出事業 4名雇用

◆全道の避難者世帯に向けた広報誌「からから」の発行業務

◆実施結果報告書の作成業務

◆雇用管理、事務局運営業務

支援者と避難者
行政とが
情報共有

◆道内での絆づくりのためのフォーラム開催業務
地方自治体とも情報共有

◆避難者の一時帰郷支援と避難者による被災地の情報発信

月に1度、会議を開催し
各種情報共有・意見交換

報告書 ・ フィードバック